

徳田 悠希

TOKUDA, Yuki



講師

所属…環境学部 環境学科
大学院 環境経営研究科 環境学専攻

Profile

■主な担当科目 地学概論、環境地質学、地学実験

■研究者略歴

2006 (平成18) 年 3月	大阪市立大学理学部地球学科 卒業
2008 (平成20) 年 3月	大阪市立大学理学部研究科前期博士課程 修了
2010 (平成22) 年 3月	大阪市立大学理学部研究科後期博士課程 単位取得退学
2010 (平成22) 年 4月	鳥取県立博物館 学芸員
2012 (平成24) 年 4月	鳥取県立博物館 主任学芸員
2016 (平成28) 年 4月	公立鳥取環境大学環境学部環境学科 講師

Research

■取得学位 博士(理学) (大阪市立大学)

■専門分野 地質学 古生物学

■現在の研究テーマ

- ・イシサンゴ類の適応進化史の解明
- ・鳥取県の中新統から産出する化石群集の再検討と古環境復元
- ・山陰海岸に分布する海食洞の形成様式の解明
- ・日本周辺海域における底生生物遺骸群集の分布様式の解明

■受賞歴

2009年1月	日本古生物学会	優秀ポスター賞
2009年9月	日本地質学会	優秀ポスター賞
2012年9月	日本地質学会	優秀ポスター賞
2017年9月	日本地質学会	優秀ポスター賞
2018年9月	日本地質学会	優秀ポスター賞

■所属学会 日本古生物学会、日本地球惑星科学連合、日本サンゴ礁学会

Data

■研究等活動

【論文 (査読あり)】

- ・延原尊美・大高歩美・徳田悠希・池原 研 (2018) 東海沖深海底の貝類およびサンゴ遺骸のAMS¹⁴C年代. 静岡大学地球科学研究報告, 第45号, p. 17-22.
- ・Sentoku, A., Tokuda, Y., Ezaki, Y. and Webb, G. E. (2018) Modes of regeneration and adaptation to soft-bottom substrates of the free-living solitary scleractinian *Deltocyathoides orientalis*. Lethaia, Vol. 51, pp. 102-111.
- ・Kitamura, A., Imai, T., Mitsui, Y., Ito, M., Miyairi, Y., Yokoyama, Y. and Tokuda, Y. (2017). Late Holocene uplift of the Izu Islands on the northern Zenisu ridge off Central Japan. Progress in Earth and Planetary Science, 4, 30.
- ・Tokuda, Y., Haraguchi, H., and Ezaki, Y. (2017) First real-time observation of transverse division in azooxanthellate scleractinian corals. Scientific Reports, 7, 41762.
- ・Shiino, Y. and Tokuda, Y. (2016) How does flow recruit epibionts onto brachiopod shells? Insights into reciprocal interactions within the symbiotic framework. Palaeoworld, vol. 25, p. 675-683.
- ・Sentoku, A., Tokuda, Y. and Ezaki, Y. (2016) Burrowing hard corals occurring on the sea floor since 80 million years ago. Scientific Reports, 6, 24355.
- ・和田年史・徳田悠希・一澤 圭 (2014) 鳥取県立博物館のダイオウイカ液浸展示標本. 鳥取県立博物館研究報告, 第51号, p. 67-71.
- ・Tokuda, Y. and Ezaki, Y. (2013) Attachment structures in *Rhizotrochus* (Scleractinia): Macro- to microscopic traits and their evolutionary significance. Lethaia, vol. 46, p. 232-244.
- ・Tokuda, Y. and Ezaki, Y. (2012) Asexual reproduction of Pliocene solitary scleractinian coral *Truncatoflabellum*: Morphological and biometric study. Journal of Paleontology, vol. 86, p. 268-272.
- ・和田年史・徳田悠希・山口暁美 (2012) 「総合的な学習の時間」におけるジオパークと博物館の活用事例. 鳥取県立博物館研究報告, 第29号, p. 17-28.
- ・Tokuda, Y., Ikeno, T., Goto, G. S., Numata, H., and Ezaki, Y. (2010) Influence of different substrates on the evolution of morphology and life-history traits of azooxanthellate solitary corals (Scleractinia: Flabellidae). Biological Journal of the Linnean Society, vol. 101, p. 184-192.

【論文 (査読なし)】

- ・兼子尚知・板木拓也・片山肇・杉崎彩子・山本浩万・味岡拓・西田尚央・徳田悠希 (2018) 奄美大島西方海域からGK17-2航海で採取されたコケムシ類. 板木拓也 (編) 「沖縄周辺海域の海洋地質学的研究」平成29年度研究概要報告書-石垣島・奄美大島周辺海域-, no.75, 117-120.
- ・徳田悠希・鈴木 淳・兼子尚知・板木拓也・杉崎彩子・片山 肇・山本浩万・西田尚央・味岡 拓 (2018) 奄美大島周辺海域からGK17-2航海により採集されたサンゴ類. 板木拓也 (編) 「沖縄周辺海域の海洋地質学的研究」平成29年度研究概要報告書-石垣島・奄美大島周辺海域-, no.75, 121-124.
- ・西田尚央・兼子尚知・片山肇・板木拓也・杉崎彩子・味岡拓・徳田悠希 (2018) 海底カメラを用いた奄美大島西方沖海域の海底観察. 板木拓也 (編) 「沖縄周辺海域の海洋地質学的研究」平成29年度研究概要報告書-石垣島・奄美大島周辺海域-, no.75, 152-156.
- ・徳田悠希・江崎洋一 (2016) 現生種と絶滅種の収斂進化-単体サンゴの固着器官の進化史-. タクサ 日本動物分類学会誌, 第40号, p. 3-8
- ・林 広樹・松浦良彦・徳田悠希・河野重範 (2015) 大田市五十猛町猛鬼海岸における大森層の混在岩に含まれる泥岩塊から産出した浮遊性有孔虫化石. 島根県地学会誌, 第30号, p. 13-18.

■社会貢献活動

- ・山陰海岸ジオパーク推進協議会 学術部会鳥取分会 委員